



環境保全米通信



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



夏号

2023年6月発行



みやぎの環境保全米
作って、食べ、農業と環境を守る。

『みやぎの環境保全米』とは

宮城の自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を県の標準的使用量の半分に減らし、自然と人間の力を合わせて生産されたお米です。
みやぎの「環境保全米」の取り組みは1992年のリオデジャネイロ地球環境サミットをきっかけに始まり、SDGs（持続可能な開発目標）の実践そのものです。



バックナンバーも
ご覧下さい。
(JA宮城中央会の
HPにリンク)



アンケート募集で
お米プレゼント!
詳細は最終面

【こへん】

1. ササニシキ誕生60周年記念田植えイベントを開催!!
2. 環境保全米を買う・味わう
JA新みやぎファーマーズマーケット『元気くん市場 仙台店』
登米市産環境保全米の米粉使用『みやとめさんくつきー』
3. コラム 読者からのご質問にお答えします。
4. 環境保全米通信読者アンケートから

ササニシキ誕生60周年記念事業

『みやぎ米グルメ部』環境保全米ササニシキの田植え体験会を開催!



ササニシキの誕生から今年で60周年になるのを記念し、環境保全米ササニシキの田植え体験会が5月13日、仙台市泉区朴沢の熊谷農園で開催されました。

この体験会は、JA全農みやぎの主催で、誕生60周年を迎えるササニシキの魅力をPRすることを目的に開催、消費者らでつくるササニシキを応援する「みやぎ米グルメ部」を結成し、加入する家族連れら7組18人が参加しました。

田植えは、泉ヶ岳の麓でお米と原木しいたけをメインに栽培している熊谷農園にご協力いただきました。参加者は30aの田んぼに田植え機に試乗しての田植え体験をした後、熊谷農園代表の熊谷幸夫さんから手で植える田植えのコツを教わり、子どもたちは、田んぼのぬかるみに足を取られながらも楽しそうに田植えを行いました。



このイベントには、仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」、楽天イーグルスのマスコットキャラクター「クラッチ」と宮城米キャンペーンキャラクター「みやぎライシーレディ」も参加し、大いに盛り上げ参加者は大喜びでした。

なお、秋には、参加者たちが植えた環境保全米ササニシキの収穫体験会も開催されます。

ササニシキは、1963年、宮城県古川農業試験場で誕生し、85年には作付面積がコシヒカリに次いで全国2位になったほどの人気銘柄で、和食の風味を最大限に引き出す、やさしく上品な味わいで、シャリをササニシキにこだわる寿司店は少なくありません。



※ササニシキ誕生60周年記念『みやぎ米グルメ部』については、
こちらのHPをご覧ください。→ <https://machico.mu/special/detail/2329>



環境保全米を買う・味わう

環境保全米が買える店

JA新みやぎファーマーズマーケット『元気くん市場 仙台店』



ポップやポスターに工夫を凝らして環境保全米の魅力を伝えています。
※写真の価格は5月中旬の取材時点のものです。

JA新みやぎファーマーズマーケット『元気くん市場 仙台店』（富谷市成田）の一角に、JA新みやぎ産のお米販売コーナーがあります。担当の藤田一也さんは「『ひとめぼれ』『つや姫』『ササニシキ』*1の3品種は環境保全米のみを取り扱っています。食味にこだわった『環境保全米プレミアムひとめぼれ』も販売しています。生産者がつくった安全・安心なお米を多くの人に食べてほしいです。」と語ります。店内精米機で摺りたてのお米を店頭並べること、購入してから長くおいしい状態を保てるようにお米の鮮度に気をつけています。精米5kg袋・10kg袋入りは店頭並んでいてすぐに購入できますし、玄米が欲しい、少量が欲しいという方向けには1kgから量り売りをしてもらえます。購入者は無料で精米や分づき*2のサービスが受けられます。

*1 ……5月中旬の取材時点で仙台店の2022年産環境保全米ササニシキは完売しました。新米入荷待ちとなります。(2023年10月2週販売再開予定)
*2 ……ぬか層や胚芽を残したお米。数字が小さくなるほど玄米に近い食感になります。8分〜3分づきに対応できるとのこと。



お話を伺った星店长
(右)と藤田さん(左)



元気くん市場では、旬の野菜、果物や花も豊富に取り揃えています。星大輔店长は「7月に朝もぎ茹でたてとうもろこしの出張販売を予定しています。産地直送のお米や野菜を購入できる元気くん市場に是非足を運んでください!」と笑顔で語って下さいました。

SHOP INFORMATION

JA 新みやぎファーマーズマーケット『元気くん市場 仙台店』
宮城県富谷市成田三丁目15番地10 TEL.022-348-3130
営業時間:10:30~18:00 定休日:1月1日~3日
泉ICから車で約5分

【姉妹店舗】

JA 新みやぎファーマーズマーケット『元気くん市場 仙台南店』
環境保全米の販売・量り売り精米サービスあり。
海の幸が買えるのが魅力!
宮城県仙台市太白区茂庭二丁目2番地4 TEL.022-398-3225
営業時間:10:00~18:00 定休日:1月1日~3日
仙台南ICから車で約2分

環境保全米の米粉を使用『みやとめさんくつきー』デビュー! 地元菓子店とJAみやぎ登米が共同開発



「みやとめさんくつきー」を持つ「おかしの家Kanon」の従業員
(4月28日、宮城県登米市迫町で)

JAみやぎ登米は、登米市産環境保全米の米粉を使った「みやとめさんくつきー」を開発しました。環境保全米をより多くの消費者に知ってもらおうと、同市迫町の菓子店「おかしの家Kanon」と協力。同店で、1枚150円で販売しています。

登米市は、農業や化学肥料の使用量を抑え、環境と人に優しい安心・安全な農業を目指す、環境保全米の発祥地です。

環境保全米の消費拡大の一環で商品開発に至りました。菓子の全面にJAのマスコットキャラクター「みやとめさん」を型取り、消費者が思わず手にとってしまう程のかわいらしさが特徴です。

米粉の食感が楽しめるため、普通のクッキーとはひと味違う商品に仕上がりました。

菓子店を営む鈴木広社長は「地元の食材や人とのつながりを大切にしているため、登米市産環境保全米の米粉を使っていることやJAとのコラボであることをアピールし販売して来ます」と話しました。

SHOP INFORMATION

『おかしの家Kanon』
〒987-0511 登米市迫町佐沼字萩洗 2-1-15
TEL.0220-23-2552
営業時間:8:00~17:00 店休日:元旦

2023環境保全米通信夏号【コラム】 読者からお寄せ頂いたご質問にお答えします。

Q「環境保全米の生産タイプとは何ですか」

A「環境保全米には、有機JAS規格を満たしたAタイプ、特別栽培米の基準を満たしたBタイプ、Cタイプ、Dタイプがあります。Bタイプは化学農薬として使用できる種類が限定され、化学窒素肥料も苗を育てるときにしか使用できません。CタイプやDタイプは化学農薬と化学窒素肥料は宮城県内慣行栽培基準の半分に抑えて栽培されています。」



Q「環境保全米は県内でどれくらいの規模で取り組まれているのですか」

A「JAグループがまとめた最新の資料によりますと、令和4年産は宮城県内全てのJAが環境保全米の作付けに取り組みました。作付実績は16,040haとなりました。実感がわきませんが、仙台市泉区(14,661ha)がすっぽり入る広さと言え、広い面積ということが分かります。主食用米の約3割の面積で環境保全米の栽培がおこなわれています。」



2023環境保全米通信春号のアンケートにご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

環境保全米通信読者アンケートから



Q1 興味を持った記事は?その理由も。 Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。



①環境保全米が食べられるお店

安全なお米は食べたいのですが値段が高いため日々取り入れるのは難しく家以外で食べられると嬉しいです。

②上記のようなお店の紹介をもっと広範囲で載せてほしいです。

①表紙・環境保全米「郷の有機」

ロゴマーク決定とても高貴なバック色でインパクトあって良いですね。セラビ幸町店(生協)さんの環境保全米はパッケージイラストが「田園風と男性の農家の方」ですので、こちら販売されるのでしょうか。もしありましたら是非とも購入しますね。赤をバックにして豊穰のイメージ、そして米粒の色彩豊かに輝いていてジュエリーみたい。本当に農家さん生産流通の方々の努力と思いが色に込められているみたいステキ。

②これからも様々な活動とても楽しいです。応援しておりますよ。

①「有機の日」お弁当販売イベント

とてもうらやましいです。仙台中心は当然だけど、何年かに1回でも県内の地域を順に販売し、良さを宣伝してほしいです。

②この通信もしばらくぶりでしたので提出することができます。私の住んでいる所はAコープがあるので時々お店でパールのライスのお米を購入して食べています。

①表紙・環境保全米「郷の有機」

表紙のデザイン、イラストだけにした敢えてのレイアウトセンスも素敵。かえって印象強く何より、ジュエリーのカラットの模した米粒の輝きも気品と意気込みを感じます。

②中身も環境保全米を取り扱う弁当や飲食店のご紹介がリクエストにお応えくださったようでして真摯で迅速なご対応にとても胸が熱くなりました。嬉しいです。おかげで米飯の特徴も詳細で、とても美味しそうで切り抜き保存版にしました。

①環境保全米が食べられるお店

ピオシーズのインスタを見ました。量り売りで食べ物を買うことがないので興味あります。無駄にしない取り組みですね。

②宮城県の環境保全米への取り組み、実績は他県と比べてどうなのか知りたいです。

①環境保全米が食べられるお店

なかなか入幡まで行くことはないのですが、ピオシーズに行ってみようと思いました。前ページの日替わり弁当もおいしそうだなあと思いました。

②今回、イベントの情報や裏面のアンケートが掲載されましたが、今後も予告や読者の声があると良いなあと思いました。

ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、環境保全米2キログラムを10名様にプレゼント!



Q1 興味を持った記事は?その理由も。

【アンケート記入例】

●アンケートの回答

Q1 _____

Q2 _____

●名前 保全米 太郎

●年齢 40才

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区
上杉1-16-3

●電話番号

022-261-7348

Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法/次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。
・アンケートの回答 ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号
いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切/2023年7月31日(月)消印有効 ※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

●応募先/NPO法人環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-16-3 JAビル別館5F

TEL:022-261-7348 FAX:022-261-7488

E-mail:okome@epfnetwork.org URL:http://www.epfnetwork.org/

発行:みやぎの環境保全米県民会議 編集協力:NPO法人環境保全米ネットワーク
事務局:宮城県農業協同組合中央会 仙台市青葉区上杉1-2-16 TEL:022-264-8247 FAX:022-264-8239